

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



ロータリーの
マジック

Rotary International District 2780
2024 - 2025

2024-2025年度ガバナー 佐々木 辰郎

RID2780地区テーマ

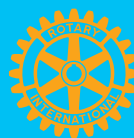
ロータリーのマジックを行動で示そう!



桜の咲き誇る相模湖カントリークラブ。

6月にはこの地でグループ合同でのゴルフコンペを行い、今年度を締めくくることとなります。

Rotary
RID2780



クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区
2024～25年度ガバナー

佐々木 辰郎

(大和田園RC)



『青少年奉仕についての一考察』

今月は青少年月間です、青少年に対するロータリーの奉仕活動について考えてみましょう！

そして更に、青少年をターゲットにしたロータリーのプログラムについても再度確認を含め、認識を新たに致しましょう。

そもそも、ロータリーの奉仕活動は、1. クラブ奉仕、2. 職業奉仕、3. 社会奉仕、4. 国際奉仕から成り立っている事はご存知の事と思います。

そして5つ目の奉仕活動として、青少年奉仕活動が認知された事はロータリーの大きな事実として皆様ご承知の事と思います。

さて、青少年奉仕活動はインターアクトクラブが提唱されたことから始まりました。インターアクトクラブはインターナショナル アクション (International Action) の造語との事と言われております。

歴史的には1962年にアメリカのフロリダのメルボルンロータリークラブが提唱し、同様のメルボルン高校で初めて青少年の持つ、新しい感覚の期待から始まったと言われております。それは将来、起こる可能性ある問題を解決できる若い方達に対する期待から始まった事業と思われます。その時代に即した若者が奉仕と国際理解そして国際親交で協力し合う機会を作る事にロータリークラブとしての大きな思いがあると考えております。

日本でのインターアクトは、1963年宮城県仙台市仙台育英高校において始めてインターアクトクラブが創立されたと歴史的事実として認識されておられると思います。そして、その後インターアクトから卒業し、次のステップに昇華したロータリーアクトクラブの活動が始まりました。

ロータリーアクトプログラムはロータリーアクションの造語と言われております。インターアクトの会員は18歳で卒業しますが、その後18歳から30歳までの青年男女を対象にロータリークラブが提唱し「地域社会を基礎とするクラブ」と「大学を基盤とするクラブ」で構成されている、ロータリーアクトクラブの活動が始まったとされています。

ロータリーアクトクラブは青年男女が個々の知識や技術を高め、それぞれの地域社会における物質的、或いは社会的なニーズと取り組み親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間により良い信頼関係を推進する機会を提供する事にあると言われております。そして2016年4月RI規定審議会において、ロータリー

アクターがロータリーメンバーと同様に扱われることになった事も近々事実としてご存知の事と思われます。

ここで青少年を対象にしたRYLAプログラム (Rotary Youth Leadership Award) について少し話を致しましょう。RYLAプログラムは14歳から30歳までの若者を対象に、スキルと人格を養いながら奉仕・高い道德基準・平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供する事を目的にしているプログラムであります。

今年度、我が地区においても3月22日～23日において善行の神奈川スポーツセンターにて1日目はグループに分かれたメンバーが新しいコンセプトでの会社を創立し、仮想銀行からの融資と我々ロータリアンに販売PRを行い仮想商店を行い、商売の流れを体験学習して頂きました、そして2日目は障害者スポーツの実体験をトップアスリートの方をお呼びして、一緒に障害者スポーツ体験を行いました。

次に、青少年交換プログラムについて話を致しましょう。世界100カ国以上で実施されているロータリー青少年交換プログラムは、ロータリークラブによる支援の下、15～19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。

今年度我が地区では、インバウンド、アウトバウンド各9名の交換学生を受け入れ、送り出しを行っております、各グループのご家庭の方々に大変ご迷惑をお掛けしてはいますが、それも彼ら、彼女らとの永きに渡る友情の始まりと考えて頂ければ幸いです。今もその友情を大切に、互いに交流を続けておられる事実がある事が我々のロータリアンの大切な歴史であると思っております。

若い時代に世界を知り、しかも1年弱の間自国を離れ、他国の言語と習慣を知る事は如何に本人の人生において、重要であり、かつ誰にでも体験出来ることではないことが帰国後の彼らの近況を知る事でその素晴らしさを理解できると思っております。

この様にロータリークラブの皆様の理解を得ることと成り立つこの青少年に対する多くの事業を皆様に理解を頂き、これからもロータリーの大きな事業として発展させていきたいと思っております。少しでも青少年理解月間として役割を出来たのであれば幸いです。今後とも皆さんの理解を頂く様お願い申し上げます。青少年理解月間の起稿と致します。

『第6グループIM報告』

第6グループ

ガバナー補佐 鈴木 義 隆

(座間RC)



今年度の第6グループ インターシティミーティングは、海老名ロータリークラブがホストを担当し令和7年2月9日(日)にレンブラントホテル海老名にて開催されました。テーマを「THE増強」～増強を目的にしないためにどう動くか～とし、ロータリークラブ活動のメンバー増強に欠かせない条件として、「魅力ある人からはじまる新しい出会いができる場の提供」と捉えて開催をいたしました。

当日はグループ内10クラブより総勢200余名の参加を頂くと共に来賓として海老名市長、佐々木ガバナー、中込ガバナーノミニーをはじめ各グループガバナー補佐の方々の参加を頂き式典から懇親会に至るまで有意義な時間を過ごすことができました。

記念事業では、嘶家・参遊亭遊助氏による創作落語「魅力が満載！米山梅吉物語」を拝聴し、人としてまた経済人として多くの人々に親しまれ助けられた梅吉を通して、人の魅力について改めて気づいていただき、各クラブによる人物紹介の一助としていただきました。

各クラブにて発表を頂く「あなたが自慢したいクラブメンバーを会場のみなさんに紹介して

ください！」では、増強活動には魅力あるクラブ活動と魅力あるメンバーが不可欠のコンセプトから各クラブにいらっしゃる、「すごい・たのしい・ゆかい」など、各クラブから代表2名の自慢できるロータリアンを第6グループメンバーに知っていただく好機となり、今回のインターシティミーティングを通して魅力あるクラブが加速すると確信いたしました。また、式典後の懇親会では更なる仲間づくりを通して交流が進むよう、席次から交流ゲーム大会まで楽しく心の和む懇親会ができ、SDGsを考慮しお食事もお提供ができ新し懇親会が開催することが出来ました。

今回の実施にあたり課題としましては、会員数の減少による収入の減少や設営に係る物価の高騰など、実施方法の一部を見直す状況がありました。今後については、開催方法・予算規模の検討など時流に則したインターシティミーティングの開催を切に願うものであります。改めて内野会長、高橋実行委員長を始め海老名ロータリークラブのメンバーの皆様にご心より感謝申し上げ、ご報告とさせていただきます。ありがとうございました。



CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
第6グループIM報告	3
第4グループIM報告	4
第3グループIM報告	5

第1グループIM報告	6
PELS 会長エレクトレーニングセミナーを終えて	7
来日学生・派遣候補生 京都研修旅行を終えて	8
2024～2025年度 RYLA研修報告	10
第10グループ・クラブ紹介	12
新会員紹介 他	15

『第4グループIM報告』

第4グループ
ガバナー補佐 高橋孝司
(綾瀬RC)



令和7年2月15日(土)レンブラントホテル海老名において、佐々木辰郎ガバナーはじめご来賓の皆様、同期ガバナー補佐の方々にもご出席いただき第4グループ、インターシティミーティングを開催致しました。

第1部は第4グループの合同例会、第2部のIMは幟プラネット・カフェ代表のエクベリ聡子様をお迎えし「SDGsは大人の宿題」と題してご講演を頂きました。その後、参加クラブから今年度の活動報告をお願いしました。第3部は懇親会とし参加者同士の親交を深める機会となりました。

今回のIMのテーマは「ロータリーのマジックで地球にやさしい未来」です。昨年は10月まで夏でした。温暖化や記録的な大雨など昨今の異常気象は人間による自然破壊、化石燃料を消費する事による二酸化炭素排出など人間の活動が大きな原因と言われています。世界では気候変動に限らず持続可能な社会を目指す色々な取り組みが始まっています。4月に開幕する大阪・関西万博、日本館のテーマも「循環」と聞きました。その目指すものは2015年国連において全会一致で採択された「SDGs 持続可能な開発目標」です。より良い世界を目指す17の目標に合意しております。その内容を見てみるとロータリーの7つの重点分野と重なる物が多く有ります。今回、改めて「SDGs 持続可能な開発目標」を学びたいと思った次第です。

第2部エクベリ聡子氏による「SDGsは大人の宿題」と題しての講演では、SDGs(持続可能な開発目標)に対する深い理解とその重要性が語られました。SDGsは2030年までに17の目標とその詳細目標169個を達成し、誰一人取り残さない持続可能な社会をつくることを目指していると述べられました。そしてサステナビリティの3つの柱は環境、社会、経済の持続性だそうです。

この50年間で世界の人口は2倍に増え80億人を突破し、野生動物の数が73%も減ったとの話では参加者から驚きの声があがっていました。

又、気候変動に関する枠組みパリ協定について世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2度以下に抑え1.5度以下に努力すること、2050年までに二酸化炭素など温室効果ガスの排出を排出量と吸収量を同じにするカーボンニュートラルを目指している事についてお話がありました。

SDGsは単なる課題としてではなく、私たちの未来を作るための宿題と捉え、それぞれができる小さな行動から始める事の重要性を訴えておられました。企業として社会的責任を果たすための方法や環境先進国スウェーデンの実践例について触れられ参加者に強い印象を与えました。

講演の後は参加6クラブから今年度の活動状況の発表をお願いし、情報交換を行いました。茅ヶ崎RCは「青少年交換、しゅわ(手話)市場、子供食堂支援等」、寒川RCは地区補助金事業「性別や障害の有無など多様性を認め合うスポーツイベント」について、綾瀬RCからは「小学生を対象としたトスボール大会等」、茅ヶ崎湘南RCは地区補助金事業「子供たちを対象とした初心者サーフィン教室」、茅ヶ崎中央RCは「中学生を対象とした職業体験」、綾瀬春日RCからは「寺子屋食堂、地域の方々と交流図るコスモス例会」と発表が続きました。各クラブは多彩な活動を行っており互いの取り組みに対する理解を深め、共有し合う貴重な機会となりました。

第3部懇親会では参加者同士の交流が進み、穏やかな雰囲気の中での意見交換が行われました。アトラクションとして今年度のRIテーマ「ロータリーのマジック」にちなんでプロマジシャンのミスターTK氏によるマジックショーが有り大いに盛り上がりを見せました。ちなみにミスターTK氏は相模原グリーンRCの会員です。今回のIMを通じて各クラブ、会員の絆が深まりロータリー活動の更なる発展に繋がるものと感じました。

結びにあたりIMが盛会裏に終わることが出来たことにに対しホストクラブの田中実行委員長はじめ綾瀬RC会員の皆様に心より感謝申し上げます。



『第3グループIM報告』

第3グループ
ガバナー補佐 新井 智代
(藤沢南RC)



2025年3月15日、藤沢市商工会議所ミナパークにて第3グループインターシティミーティングを開催いたしました。ご来賓には鈴木恒夫藤沢市長はじめ、佐々木ガバナー、並びに地区関係者をお迎えし150名を超える会員にお集まりいただきました。

今年のIMはテーマを「One TEAMで強い組織づくり」として、基調講演に2015年ラグビーワールドカップ・イングランド大会日本代表メンバーで高校から日本代表に至るまでチームキャプテンを務めた廣瀬俊朗氏を講師にお迎えしました。廣瀬氏は現役引退後会社経営の他、ラグビーの枠を超え、そのご経験を活かしたチームビルディングやリーダーシップのアドバイスをを行っておられ、その活動はロータリーの奉仕の精神とも大いにシンクロして大変魅力的なご講演をいただきました。

現在、第3グループには個性豊かで多様性に富む10のクラブと1衛星クラブが存在し、それぞれの強みを活かしながら行動し続けています。そんな多様な会員が一堂に会するIMで、お互いの力を引き出しあいながら「One TEAM」としてさらに強い組織となる価値を確認する貴重な時間となりました。

合同例会では、他クラブの活動から刺激を受ける機会になれば…と、各クラブの活動報告を行いました。ご協力をいただきました、会長・幹事の皆様に感謝申し上げます。

また相澤光春米山奨学会副理事長からは、米山奨学生・青少年交換留学生を紹介いただき、それ

ぞれの留学生代表から流暢な日本語でご挨拶があったことも印象に残る一場面でした。

懇親会では世界女性デーを記念して第3グループ内の女性会員のご紹介・次年度会長幹事と新会員のご紹介・基調講演講師廣瀬氏から贈られたサイン入りラグビーボールのプレゼント抽選会など盛りだくさんのラインナップの元、多くの会員の皆様が和やかに親交を深めていただけたことと思います。

最後にホストクラブふじさわ湘南RC、大澤実行委員長・布施会長を始めとする会員の皆様のご尽力により本会が無事に開催されましたことを心より感謝申し上げます。



『第1グループIM報告』

第1グループ
ガバナー補佐 **前 田 長 生**
(横須賀RC)



去る3月29日(土)メルキュールホテル横須賀において、第1グループ5クラブによるIM(横須賀RC、横須賀北RC、横須賀西RC、横須賀南西RC、三浦RC)を開催いたしました。

テーマを「平和の希求、私たちができることを考えよう」として、講師にロータリー平和センターホストエリア広報アンバサダーの鬼嶋雄三様(横浜都筑RC)とRI第2770地区受入の平和フェロー ニコル・ジョイ・マクネヴィン様を迎えました。

まずは鬼嶋様よりロータリー平和センタープログラムの歴史と概要について説明していただいたのち、ニコル様に平和フェローを志した動機と留学中の経験についてのお話を伺いました。

今もって不安定で心配の絶えないこの世界における平和の構築を私たちロータリアンの

身近な問題として捉え、「持続的な平和」について考える良い機会になったものと思います。

講演後は日々私たちの日本の安全を守っていただいている自衛隊横須賀音楽隊の力強い演奏を聴いて、後に続く懇親会を大いに盛り上げていただきました。

ご講演のお二人ならびに海上自衛隊横須賀音楽隊の方々に心より御礼を申し上げたいと思います。

佐々木ガバナーをはじめ小佐野パストガバナー(横須賀RC)、森パストガバナー(横須賀北RC)ならびに松下ガバナーエレクト、中込ガバナーノミニーそして私の盟友である同期ガバナー補佐8名の参加を賜り、盛大で有意義なIMを開催できましたことを心より感謝申し上げます。



『PELS 会長エレクトラーニングセミナーを終えて』



地区ラーニング委員会

委員長 田 中 賢 三
(茅ヶ崎RC)

【活力は 会長の心意気 ロータリー】

2025年3月8日(土)相澤ビルにて開催されました。次年度会長はロータリークラブ定款により本セミナーおよび4月20日開催予定のCLLS(クラブリーダーシップラーニングセミナー)(今までの地区研修・協議会)の両方に出席しないと資格を得ることが出来ないという重要セミナーです。

今年度の地区役員と次年度組織紹介、クラブ会長エレクト、本セミナー準備&進行役など紹介、佐々木ガバナー挨拶に続いて松下ガバナーエレクトのRI及び地区方針の説明がなされました。松宮元RI理事、平和フェローを理解するための広報担当者・横浜都筑ロータリークラブ鬼嶋雄三様、平和フェロー23期生ナイジェリアのウドフィア様の3名が担当され、ロータリーの理解を深めるための基調講演をして頂きました。

松下年度の特徴は、RI会長テーマの代わりにRI会長メッセージとなり、加えて松下年度地区ポリシーとして説明がなされました。かつて戦略計画と云われていたロータリーの行動方針(行動計画とも云う)の4つの優先項目に沿って具体的な地区方針が示され、各クラブがそれに沿って行動する指針となるものでした。配布された資料はクラブ会長として1年間のバイブル的なものですからクラブ目標立案するために最も大事な資料となります。

松宮元RI理事基調講演は【会長に期待したい事】で大変素晴らしい内容でした。要旨を箇条書きしておきますので役立てて下さる様にお願い致します。

- ・地区はクラブに対して広範囲に支援しているが、ロータリー活動の最大の担い手はクラブです。
- ・ロータリーの本質を担い、役に立つ行動をしているのがクラブです。
- ・会員構成の多様性を認め、活動して欲しい。
- ・ロータリーの目的、奉仕の理念をおろそかにしないでください。
- ・会員相互の対等性、平等な雰囲気を作って行きましょう。
- ・ロータリーは近年緩やかな規則になっており、自発的な意思によって活性化を図ってください。
- ・役割の担当は単年度制が原則ですが、この利点も生かすと効果的である場合もあります。
- ・クラブの特質を生かした活動をして下さい。
- ・会長は率先して家族の参加を促し、新会員家族も誘い、会員相互の理解を深めるようにして下さい。

「とびっきりの年度にして下さい！」

ラーニング委員長からのメッセージ「例会奉仕 打つ手は 無限」です。一年間健康で頑張りましょう。



『来日学生・派遣候補生 京都研修旅行を終えて』

地区青少年交換委員会
委員長 遠藤 秀樹
(足柄RC)



去る3月16日から18日までの2泊3日で、恒例となっている京都研修旅行を実施いたしました。

天候はあいにくの予報ではありましたが、幸いにも大きく崩れることなく、春の京都を楽しむことができました。

これまでの研修旅行では全行程を全員で行動しておりましたが、今年度は新たな試みとして、2日目に4つのグループに分かれての自由行動を行いました。

宿泊は京都駅近くのホテルを手配し、市内の名所を巡った後、夕方にはホテルに戻るというプランを、各グループのリーダーを中心に1月から綿密に計画してまいりました。

グループ分けは、出身国・派遣国が同じ学生同士を中心に構成し、それぞれにチーム名をつけ、行動予定表を作成。さらに、各グループにはロータリアンの責任者を配置し、安全面にも十分配慮して実施いたしました。

当日はもちろんのこと、事前準備の段階から学生たちの連帯感が高まり、国際理解も一層深まっ

たものと感じております。

自由散策の行き先は京都市内が中心となることから、1日目には大原方面、3日目には嵐山方面と、少し市内から離れた観光地を訪れました。

大原では三千院の見学や抹茶体験を、嵐山では竹林の小径などを楽しみました。

また、2日目の自由散策終了後には、ホテルの会議室にてROTEX主催の勉強会を2時間にわたり開催いたしました。

この勉強会では、インバウンド学生の体験談をもとに、派遣先で困ったときの対処法などを学び合い、活発なディスカッションを通じて国際理解が一層深まりました。

後日開催されたオリエンテーションでは、京都研修旅行を終えての感想を、来日学生には日本語で、派遣候補生にはそれぞれの派遣先の言語でスピーチしてもらいました。

全員が研修旅行を通じて何をgetしたいのかを明確に持ち、それぞれの言葉で熱く語ってくれた姿が印象的でした。



青少年交換

この時期、来日学生は日本での生活にすっかり慣れ、語学力も大きく向上しています。

一方で派遣候補生は、夏から始まる留学に向けて自覚と責任感が高まってきており、そのような時期に、同じ志を持つ同世代の仲間と3日間を共に過ごすことは、大きな刺激と成長をもたらす貴重な機会となりました。

私自身、過去2回の同行を通じて、こうした研修旅行が学生に与える変化の大きさを実感しており、今回もまた、彼らの未来にとって大きな財産

になると強く感じております。

そして何より、日本が誇る観光地「京都」でこのメンバーと共に過ごせたことが、彼らの人生において素晴らしい思い出と学びとなることを確信しております。

今後も学生の安全を最優先に、委員会活動を進めてまいります。

引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



『2024～2025年度 RYLA研修報告』

地区RYLA委員会

委員長 浅場 智彦
(鎌倉RC)



2024-2025年度国際ロータリー第2780地区のRYLA (Rotary Youth Leadership Awards) は、2025年3月22日(土)～23日(日)の一泊二日、藤沢市善行の神奈川県立スポーツセンターにて開催致しました。

当地区においてこのRYLAのプロジェクトは、2年前より復活しました。今年度は昨年度の経験を基に更に発展させることを目指し、昨年同様、ローターアクトのメンバーに研修の企画をお任せし、インターアクト、青少年交換の高校生を対象としたプログラムを実施致しました。

今年度は「成長万博」のテーマのもと、1日目は、アイスブレイクに続いて、「RYLAの夜明け」と題し、仮想会社経営を行い、アイデア力と説明力を学んで頂きました。

2日目は、パラスポーツ選手との交流し、実

際にパラスポーツの体験をして頂きました。

そして、最後にインターアクトの三年生を送る会を実施し、会を締めくくりました。

今回のRYLA研修には、ローターアクト、インターアクト、青少年交換の来日学生と派遣候補生、ROTEX、財団学友、米山学友、そしてロータリアンと、総勢150名もの多くの方々にご参加頂きました。

参加した高校生からも大変楽しく、勉強になったとの感想を多数頂戴しました。それはやはり、年齢的にも彼らに近いローターアクトのメンバーの企画、発想が素晴らしいものであったからだと思います。

既に、インターアクト卒業後は、ローターアクトに入会を希望するメンバーも出てきました。RYLA研修の成果が、今後少しずつでも拡がる事を期待したいと思います。



佐々木辰郎ガバナー挨拶



浅場智彦RYLA委員長挨拶



04小磯圭悟RYLA実行委員長挨拶



会社設立検討会



会社設立発表会



食事風景



車いすスポーツの現状



車いすバスケット



ボッチャ



インタラクティブ三送会



RYLAスタッフ



集合写真

クラブ紹介

第10グループ

相模原南ロータリークラブ

会長 中 村 好 孝

当クラブは、1970年に、相模原ロータリークラブをスポンサークラブとして発足し、2025年には55周年を迎えます。今年度は45名の会員でスタートを切りましたが、55周年は55名の会員数で迎えようという目標を掲げ、クラブ一丸となって会員増強に取り組んでおります。

当クラブの奉仕活動として、幼児サッカー教室、高校への出前授業、障がいがある方の「オートバイに乗る」という夢をサポートするプロジェクト(SSP)、こども食堂へのイベント支援事業のほか、地元イベントに参加してポリオ撲滅のための募金活動などを行っています。

当クラブは風通しが良く、明るく楽しいクラブです。奉仕活動、ゴルフ、釣りなどの同好会、夜の会合などを通じ、積極的にクラブ会員との交流を図っています。また、今年度はメイクツアーと称し、各クラブをメイクで訪問して他クラブとの交流も楽しむなど、会員各々がロータリーライフを満喫しながら活動をしています。



袋井RCメイクツアー



ハロウィンポリオ募金



クリスマス家族会

相模原中ロータリークラブ

会長 大 井 達

私達、相模原中ロータリークラブでは、周年事業で橋本公園に植えた河津桜も20年を過ぎて大きく育ち、美しい花を咲かせて、多くの市民の方に楽しんで頂けるマジックをたくさん起こして来ました。

今年度は、奉仕活動や親睦活動を通して「たくさんの笑顔を生み出す」マジックを起こそうをテーマに活動を進めて参りました。例年7月に行っている少年野球大会では、市内70チームの少年野球クラブの子供たちが熱戦を繰り広げ、今年も上位4チームが県の大会に出場出来ました。応援するご父兄やコーチの方たちが見守る中、暑さに負けず精一杯戦う子供たちからはたくさんのエネルギーを頂く事が出来ました。12月には相模原市少年野球協会主催の野球教室を横浜国大野球部の選手の皆さんにご協力いただき、チームを超えて練習に励み、同じ野球を楽しむ子供たちのたくさんの笑顔に出会う事が出来ました。3月には、地区補助金を活用しての、障がい者の方とご家族の方たちに人力車の体験乗車をして頂きました。浅草の岡崎屋惣次郎氏、NPO法人スリーピースさんの全面支援のもとお天気にも恵まれ、普段から外出が難しい方も人力車で周遊し、公園のお散歩を楽しんで頂き、とびきりの笑顔のマジックを起こせたと思います。参加して頂いたみなさまに改めて感謝いたします。



屋形船での移動例会



人力車に乗ろう体験乗車



野球大会

クラブ紹介

第10グループ

相模原西ロータリークラブ

会長 金 山 茂 雄

相模原西ロータリークラブは1981年に創立し、今年で44年目を迎えました。会員数は36名と少なくなりましたが只今会員増強に力を入れているところです。前年度は初のガバナーズクラブとなり西クラブ会員が一丸となり無事にガバナーズクラブを終えることが出来ました。第2780地区の皆様には多大なご協力、ご支援ありがとうございました。



当クラブでは、8月に県立麻溝台高校インターアクト・クラブの生徒達と連携したエンドポリオ募金活動を東林間サマーわぁ！ニバルで行いました。その他地元少年野球団体への支援、4月には中心子供の家、すずらん会、麻溝台インターアクト・クラブの皆様とのボーリング大会などを行っています。今後も様々な活動を積極的に行っていきたいと思いますので皆様のご指導とご支援を宜しくお願い致します。



相模原東ロータリークラブ

会長 飯 田 恵 美

4年目での会長就任ということで、ロータリークラブの活動や役割も全て理解していない中、クラブの会員の皆様方には大変ご迷惑をお掛けしています。

少人数ながら仲良くアットホームな雰囲気で行っております。

奉仕活動としては、従来の「ホタル事業」に加えて、障がい者支援事業「発達凸凹さんフェスタ」を継続事業として進めてまいりたいと思っております。

「世の中をよくする活動」を今後も力を合わせて行っていく所存でございます。



発達凸凹さんフェスタ



移動例会～横浜クルーズ～



地区大会

相模原柴胡ロータリークラブ

会長 鶴見 大輔

自由奔放でとても居心地の良い相模原柴胡ロータリークラブを紹介させていただきます。
当クラブは堅苦しくない雰囲気の日常例会と会員皆が団結して1つになる奉仕活動とを
合わせ持つメリハリのあるクラブです。

今年度は昨年協賛した「着物de文化フォト未来事業」に対して地区補助金奉仕プロジェクトとして奉仕活動を行いました。

ご家庭の事情で、七五三や成人式の写真を撮ることができなかった方のために、着物を
着てもらい写真撮影を行い撮影した写真をアルバムにしてプレゼントとするという活動で、
会員は設営準備や片付けの手伝い、お弁当の提供・配膳を協力して行いました。

化粧をして着物を着て、撮影する過程の中で変わっていく姿には『MAGIC』を感じる活動でした。

これからも相模原柴胡ロータリークラブをよろしくお願いいたします。



研修バスツアー



例会風景



奉仕活動

相模原かめりあロータリークラブ

会長 白幡 裕子

会場が3月から相模大野センチュリーホテル8階パティールームに変わりました。3月19
日の例会からです。食事はサラダとカレーでした。これからは、お弁当になる予定です。
毎回、かめりあのソングから始まります。作曲、作詞はかめりあチャーター会員の二人で
す。又、会員のデザインでかめりあ独自のロータリーバッジを胸に付けています。会員一
人ひとりが、簡単なスピーチをして親睦を図っています。

名物会員は、邦、洋舞踊家、画家、音楽家、専門的なキャリアを持った会員が多数いま
す。互いのキャリアを生かし助け合って、楽しい例会
を過ごしています。卓話はなるべく、会員で行うよう
に心掛けています。



新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



えだ かつのり
江田 克紀
①相模原ニューシティ
②2025. 01. 01
③建設業(金属工事)
④岡田耕次郎、
古谷 淳史



ほそかわ こうじ
細川 康治
①相模原ニューシティ
②2025. 01. 01
③生命保険
④大隈 秀仁



まるやま りゅうじ
丸山 隆司
①相模原ニューシティ
②2025. 01. 01
③飲食業
④長谷川 明



すずき まこと
鈴木 誠
①秦野
②2025. 01. 14
③保険業
④平原 績



にしだ ひでし
西田 英史
①秦野
②2025. 03. 18
③証券
④芳賀 丈和、
郭 根男



むらかみ わたる
村上 亘
①平塚北
②2025. 03. 25
③生命保険業
④真壁 佐一



たかはし まさひこ
高橋 雅彦
①伊勢原
②2025. 03. 26
③食肉小売業
④井戸川秀治、
柏木 貞俊



ふじわら ただあき
藤原 忠明
①座間
②2025. 04. 02
③板金加工業
④鍋木 重治、
山田 和彦



かんべ よういち
神戸 洋一
①小田原
②2025. 04. 07
③総合小売事業
④鈴木 壯治



はら そう
原 聡
①小田原
②2025. 04. 07
③放送・通信業
④堀 俊一、
高橋 剛司



わたなべ まさおみ
渡辺 昌臣
①小田原
②2025. 04. 07
③金融事業
④堀 俊一、
高橋 剛司



そやま なおしげ
曽山 直重
①相模原おださが
②2025. 04. 10
③金融業
④谷下 祥春



チャン・ティエップ
Tran Van Tiep
①平塚
②2025. 04. 10
③サービス業
④三荒 弘道



もりた あきなが
森田 哲永
①足柄
②2025. 04. 11
③行政書士
④永田 準一



みやぎ ひさし
宮城 尚
①小田原
②2025. 04. 14
③損害保険業
④堀 俊一、
高橋 剛司

《被災地への支援金》

令和7年大船渡大規模山林火災による被災地への支援金のご協力を有難うございました。

支援金総額：2,028,550円、現地の第2520地区へお送りいたしました。

—第10グループ—

大船渡市と友好都市を結んでいる相模原市の『シティプロモーション戦略課』へ208,000円を寄付いたします。

訃報 ご冥福をお祈り致します



とみた ひでお
富田 英雄 (鎌倉大船)
2025年3月9日逝去 (享年92歳)
1973年10月1日 入会
1981~82年度 クラブ会長
1990~91年度 クラブ会長
1995~96年度 第2分区代理
ロータリー財団 PHF+7
ベネファクター
米山奨学会 第8回米山功労者

第2780地区 2025年3月末 会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数									
			3月末		年 初 7月1日		本年度 入会者		本年度 退会者		本年度 増減	
			男女 合計	女性 合計	男女 合計	女性 合計	男女 合計	女性 合計	男女 合計	女性 合計	男女 合計	女性 合計
1	横 須 賀	3	112	16	115	16	7	1	10	1	-3	0
	横 須 賀 北	3	21	5	20	5	1	0	0	0	1	0
	三 浦	3	59	6	57	5	2	1	0	0	2	1
	横 須 賀 西	4	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0
	横 須 賀 南 西	4	13	1	15	2	0	0	2	1	-2	-1
	横 須 賀 RAC	2	9	1	8	1	1	0	0	0	1	0
	計		229	29	230	29	11	2	12	2	-1	0
R C 合計			220	28	222	28	10	2	12	2	-2	0
R A C 合計			9	1	8	1	1	0	0	0	1	0
2	鎌 倉	3	69	12	68	12	2	0	1	0	1	0
	逗 子	3	41	6	39	6	2	0	0	0	2	0
	鎌 倉 大 船	3	13	0	13	0	1	0	1	0	0	0
	葉 山	4	17	4	17	4	0	0	0	0	0	0
	鎌 倉 中 央	2	15	6	14	5	2	1	1	0	1	1
	鎌 倉 RAC	1	8	6	11	8	0	0	3	2	-3	-2
	計		163	34	162	35	7	1	6	2	1	-1
R C 合計			155	28	151	27	7	1	3	0	4	1
R A C 合計			8	6	11	8	0	0	3	2	-3	-2
3	藤 沢	4	41	10	40	10	4	1	3	1	1	0
	藤 沢 西	3	20	1	19	1	1	0	0	0	1	0
	藤 沢 東	3	32	6	28	6	5	0	1	0	4	0
	藤 沢 北 西	3	12	1	13	2	1	0	2	1	-1	-1
	藤 沢 南	4	48	9	45	8	4	2	1	1	3	1
	藤沢南デスカバーローター衛	3	24	3	22	3	2	0	0	0	2	0
	ふじさわ湘南	5	34	0	34	1	2	0	2	1	0	-1
かながわ湘南	3	19	12	19	12	0	0	0	0	0	0	
アーカス湘南	4	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0	
イノベーションゲートウェイ湘南	2	39	4	39	4	0	0	0	0	0	0	
かながわ DEI	2	26	7	20	4	9	4	3	1	6	3	
計		298	55	282	53	28	7	12	5	16	2	
4	茅 ヶ 崎	3	47	4	46	5	2	0	1	1	1	-1
	寒 川	3	37	3	37	3	0	0	0	0	0	0
	綾 瀬	3	34	1	37	1	0	0	3	0	-3	0
	茅 ヶ 崎 湘 南	3	43	1	42	1	2	0	1	0	1	0
	茅 ヶ 崎 中 央	4	51	2	49	2	4	0	2	0	2	0
	綾 瀬 春 日	3	20	0	23	0	1	0	4	0	-3	0
	計		232	11	234	12	9	0	11	1	-2	-1
5	相 模 原	3	67	9	66	8	6	1	5	0	1	1
	相模原グリーン	3	45	4	45	4	1	0	1	0	0	0
	津 久 井 中 央	3	24	4	24	4	0	0	0	0	0	0
	相 模 原 橋 本	3	77	10	70	9	7	1	0	0	7	1
	相模原ニューシティ	2	54	7	45	6	9	1	0	0	9	1
	相模原おださが	2	32	2	30	2	3	0	1	0	2	0
	相 模 原 RAC	2	30	14	32	13	3	3	4	2	-1	1
計		329	50	312	46	29	6	11	2	18	4	
R C 合計			299	36	280	33	26	3	7	0	19	3
R A C 合計			30	14	32	13	3	3	4	2	-1	1
6	厚 木	4	32	1	34	1	1	0	3	0	-2	0
	大 和	3	28	4	31	4	0	0	3	0	-3	0
	座 間	3	32	3	30	3	2	0	0	0	2	0
	大 和 中	3	27	1	24	1	3	0	0	0	3	0
	厚 木 中	3	21	0	23	1	1	0	3	1	-2	-1
	大 和 田 園	3	23	1	25	1	0	0	2	0	-2	0
	海 老 名	2	52	4	49	5	4	0	1	1	3	-1
	海 老 名 櫻	3	35	5	34	5	1	0	0	0	1	0
	厚 木 県 央	3	37	4	37	4	0	0	0	0	0	0
	本 厚 木	2	34	3	33	3	2	0	1	0	1	0
厚 木 中 RAC	0	4	1	4	1	0	0	0	0	0	0	
計		325	27	324	29	14	0	13	2	1	-2	
R C 合計			321	26	320	28	14	0	13	2	1	-2
R A C 合計			4	1	4	1	0	0	0	0	0	0
7	秦 野	3	50	8	50	7	3	1	3	0	0	1
	伊 勢 原	4	53	4	48	4	7	0	2	0	5	0
	秦 野 中	4	35	1	35	1	3	0	3	0	0	0
	伊 勢 原 中 央	3	14	0	13	0	1	0	0	0	1	0
	秦 野 名 水	2	12	5	15	6	0	0	3	1	-3	-1
	伊 勢 原 平 成	3	22	2	22	2	0	0	0	0	0	0
	計		186	20	183	20	14	1	11	1	3	0
8	平 塚	3	64	5	58	4	8	2	2	1	6	1
	大 磯	2	15	3	15	3	2	0	2	0	0	0
	平 塚 北	3	30	6	26	6	5	0	1	0	4	0
	二 宮	2	11	4	11	4	0	0	0	0	0	0
	平 塚 西	3	24	1	24	1	2	0	2	0	0	0
	平 塚 湘 南	3	47	9	49	9	1	0	3	0	-2	0
	計		191	28	183	27	18	2	10	1	8	1
9	小 田 原	4	67	4	65	4	6	0	4	0	2	0
	湯 河 原	3	20	3	20	3	0	0	0	0	0	0
	箱 根	3	34	2	35	2	1	0	2	0	-1	0
	小 田 原 北	3	26	1	25	1	1	0	0	0	1	0
	小 田 原 城 北	3	38	4	36	4	3	0	1	0	2	0
	小 田 原 中	3	50	5	49	5	1	0	0	0	1	0
	足 柄	3	28	4	20	1	8	3	0	0	8	3
小田原城北RAC	0	5	2	5	2	0	0	0	0	0	0	
計		268	25	255	22	20	3	7	0	13	3	
R C 合計			263	23	250	20	20	3	7	0	13	3
R A C 合計			5	2	5	2	0	0	0	0	0	0
10	相 模 原 南	3	49	9	45	9	6	0	2	0	4	0
	相 模 原 中	4	27	4	28	4	1	0	2	0	-1	0
	相 模 原 西	3	36	3	39	3	0	0	3	0	-3	0
	相模原西令和大野ローター衛	1	6	2	6	2	0	0	0	0	0	0
	相 模 原 東	2	16	2	16	2	1	0	1	0	0	0
	相 模 原 柴 胡	4	25	3	25	3	0	0	0	0	0	0
	相模原かめりあ	2	29	26	32	29	1	1	4	4	-3	-3
計		188	49	191	52	9	1	12	4	-3	-3	
R C 合計		67	2,353	304	2,296	300	155	20	98	16	57	4
R A C 合計		5	56	24	60	25	4	3	7	4	-3	-1
総 計			2,409	328	2,356	325	159	23	105	20	54	3

本年度入会者数(人)		本年度退会者数(人)		本年度会員数増減数(人)		地区内クラブ		地区内会員総数(人)	
RC	155 (20)	RC	98 (16)	RC	57 (4)	RC	67	RC	2,353 (304)
RAC	4 (3)	RAC	7 (4)	RAC	-3 (-1)	RAC	5	RAC	56 (24)

()内は
女性会員

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2024~2025 Governor

Tatsuro Sasaki

■OFFICE/Aizawa Bldg. #1, 5F,
22-7-501 Minami-Fujisawa,
Fujisawa-city, Kanagawa
251-0055 JAPAN
Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866



2024~2025年度ガバナー

佐々木 辰郎

■事務所/〒251-0055
藤沢市南藤沢22-7-501 第一相澤ビル5階
Tel: 0466-25-8855 Fax: 0466-25-8866
E-mail: g-office@rid2780.gr.jp
URL: https://rid2780.gr.jp/